



フラワーパーク 活性化策を提案

静岡文化芸術大生

浜松市中区の静岡文化芸術大の学生がこのほど、地域連携実践演習の授業の一環で、西区のはままつフラワーパークの活性化を考え、成果を同パークで発表した。若い来場者を呼び込むためのアイデアを職員らに提案した。

学生は5月の視察で気付いた点を基に改善

フラワーパークの活性化案を発表する学生ら＝浜松市西区のはままつフラワーパーク

点などを検討した。同パークのマスケット「ふらまる」を横した写真

真撮影用のスマホスタンドや、ウォールアートなどの撮影スポットの新設を提案した。ふらまるの帽子をイメージしたドリンクのふたなども考案。オリジナル飲料をその場で作り、職員らに振る舞った。

デザイン学部4年の清水菜々美さん(22)は「今後も学生とフラワーパークの間で話し合いの場を設けてアイデアの実現につなげられれば」と意欲を見せた。

連携を同大に持ちかけた元職員の前田勇さん(63)は「試作品も時間をかけて丁寧に作ってくれてありがたい。若者ならではの視点を取り入れたい」と話した。